

沖縄 21 世紀ビジョン基本計画等検証シートについて

沖縄21世紀ビジョン基本計画等検証シートについて

検証シートとは

検証シートは、施策展開に位置づけられた成果指標の動向に、政策ツールである予算事業や沖縄振興特別措置法に基づく税制、特例措置、配慮規定等がどのような影響を与えたか、外部環境などの背景や要因を分析することを目的に作成するものであり、総点検報告書素案第3章の審議の参考となる資料である。

検証シートを活用した審議の具体的な視点

- ・目標は達成されているのか？
- ・**目標が達成できていない理由は何か？** 取組不足？外部要因？
- ・これまでの取組は目標の達成にどの程度寄与していたのか？



検証シートの見方について①

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

成果指標					背景・要因の分析	
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況		
P355	1. しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合	82%	58%(H25)	49.8%(H30)	進展遅れ	(1)しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合 【進展遅れ】 「しまくとぅば」普及推進計画に基づき、「しまくとぅば普及センター」の設置運営のほか、県民大会・しまくとぅば語やびら大会を開催するなど、しまくとぅば普及人材の養成及び活用、しまくとぅばに触れる環境の整備等の取り組みを行ってきたが、特に若年層において、しまくとぅばを挨拶程度以上話す人の割合は伸び悩んでいることから、進展が遅れている。
記載なし	2. 文化財の指定件数	1,450件	1,345件(H23)	1,413件(H30)	進展	
	3. 史跡等への訪問者数	390万人/年	327.7万人/年(H22)	401.9万人/年(H30)	目標達成	
	4. 市町村文化協会会員数	20,000名	12,854名(H23)	15,295名(H30)	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P353	しまくとぅば普及センター(中核的機能)の設置・運営(H28~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金 207百万円 (166百万円)	普及の中核的機能を果たすしまくとぅば普及センターを運営する	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ
P353	しまくとぅば体験権の創出(H25~H28) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金 156百万円 (124百万円)	「しまくとぅば県民大会」や「しまくとぅば語やびら大会」を開催し、しまくとぅばの普及推進を図る	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ
	しまくとぅば学習活動の支援(H24~R3) (教育庁)	—	高校において、授業や特別活動等の中で琉球語で書かれたテキストを教材とした学習活動を支援する	【H30年度目標】 学校設定科目実施校 10校	【H30年度実績】 学校設定科目実施校 7校	進展
	しまくとぅば活用連携協力事業(H24~R3) (教育庁)	—	小・中学校の学校教育において、地域の人材を活用したしまくとぅばに関する授業や講話会を実施する	【H30年度目標】 しまくとぅば読本利用率 ・小学校85% ・中学校85%	【H30年度実績】 しまくとぅば読本利用率 ・小学校85% ・中学校85%	
記載なし	地域の文化継承・発信支援事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業 57百万円	各地域の伝統行事・芸能等に関するシンポジウム及び地域の伝統芸能を集めた公演を開催する	【H30年度目標】 各地域でのシンポジウム等の開催 3回	【H30年度実績】 各地域でのシンポジウム等の開催 4回	達成

21世紀ビジョン基本計画において各施策展開ごとに設定した成果指標を記載

成果指標に関連する主な予算事業を記載

※全ての関連事業を記載しているわけではなく、予算の大きいものや成果指標達成への寄与度の高いものを中心に記載

各成果指標について、達成状況とその背景や要因を記載



記載内容を元に達成状況の検証や今後の課題等の洗い出しを実施

第2回文化観光スポーツ部会で審議いただく成果指標や事業・取組等は、赤線で囲って表示しております。

検証シートの見方について②

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島			
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造			
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり			
政策ツール				背景・要因の分析
税制等				
経減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況
努力義務・配慮義務・特例措置				
沖縄法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)		

施策展開に関連する沖縄振興特別措置法に基づく税制や努力義務、特例制度等を記載

成果指標及び予算事業に係る達成状況の評価基準について

成果指標に係る達成状況の評価基準

平成24年度から30年度までの成果指標の達成度(%)により評価

(算定式) 達成率 = (H○実績値 - 基準値) / (H33目標値 - 基準値)

(区分) 「目標達成」: 100%超 「達成見込」: 70%~100%未満

「進展」: 50%~70%未満 「進展遅れ」: 50%未満

予算事業に係る達成状況の評価基準

成果指標と同様に活動指標の進捗率(%)により評価

(算定式) 進捗率 = (評価年度実績値 - 基準値) / (評価年度目標値 - 基準値)

(区分) 「達成」: 90%超 「概ね達成」: 75%~90%未満

「進展」: 60%~75%未満 「進展遅れ」: 60%未満

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

成果指標						背景・要因の分析	
P355 記載なし	成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	(1)しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合 【進展遅れ】 「しまくとぅば」普及推進計画に基づき、「しまくとぅば普及センター」の設置運営のほか、県民大会・しまくとぅば語やびら大会を開催するなど、しまくとぅば普及人材の養成及び活用、しまくとぅばに触れる環境の整備等の取り組みを行ってきたが、特に若年層において、しまくとぅばを挨拶程度以上話す人の割合は伸び悩んでいることから、進展が遅れている。 (2)文化財の指定件数 (3)史跡等への訪問者数	
	1.	しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合	82%	58%(H25)	49.8%(H30)		進展遅れ
	2.	文化財の指定件数	1,450件	1,345件(H23)	1,413件(H30)		進展
	3.	史跡等への訪問者数	390万人/年	327.7万人/年(H22)	401.9万人/年(H30)		目標達成
	4.	市町村文化協会会員数	20,000名	12,854名(H23)	15,295名(H30)		進展遅れ
政策ツール							
主な予算事業							
	事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P353	しまくとぅば普及センター(中核的機能)の設置・運営(H29～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	207百万円 (166百万円)	普及の中核的機能を果たすしまくとぅば普及センターを運営する	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ
P353	しまくとぅば体験機会の創出(H25～H28) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	156百万円 (124百万円)	「しまくとぅば県民大会」や「しまくとぅば語やびら大会」を開催し、しまくとぅばの普及推進を図る	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ
	しまくとぅば学習活動の支援(H24～R3) (教育庁)	—		高校において、授業や特別活動等の中で琉球諸言語で書かれたテキストを教材とした学習活動を支援する	【H30年度目標】 学校設定科目実施校 10校	【H30年度実績】 学校設定科目実施校 7校	進展
	しまくとぅば活用連携協力事業(H24～R3) (教育庁)	—		小・中学校の学校教育において、地域の人材を活用したしまくとぅばに関する授業や講話会等を実施する	【H30年度目標】 しまくとぅば読本活用率 ・小学校85% ・中学校85%	【H30年度】 しまくとぅば読本活用率 ・小学校85% ・中学校85%	
記載なし	地域の文化継承・発信支援事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	57百万円	各地域の伝統行事・芸能等に関するシンポジウム及び地域の伝統芸能を集めた公演を開催する	【H30年度目標】 各地域でのシンポジウム等の開催 3回	【H30年度実績】 各地域でのシンポジウム等の開催 4回	達成

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(4)市町村文化協会会員数 【進展遅れ】 沖縄県文化協会と協会運営や各市町村会員数の増加に向けて意見交換を行うとともに、沖縄県文化協会理事会や総会等で検討した事項の情報の共有等に取り組んでいるものの、各市町村の会員の高齢化等で会員数については横ばい状態であり進展が遅れている。
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
県文化財保護審議会の開催(H24～R3) (教育庁)	県単事業	2百万円	沖縄県の文化財保護のため、文化財保護審議会を開催するとともに、専門部会において調査を行う	【H30年度目標】 文化財保護審議会の開催1回	【H30年度実績】 文化財保護審議会の開催2回	達成	
史跡等の整備(H24～R3) (教育庁)	各省計上	1,451百万円 (1,169百万円)	国指定・県指定の史跡・名勝の保存整備事業を実施する	【H30年度目標】 県及び市町村の史跡、名勝の整備:16件	【H30年度実績】 県及び市町村の史跡、名勝の整備:15件	達成	
島くとうば保存・継承の取り組み(H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	80百万円 (49百万円)	島くとうばの継承発展に向けて、普及啓発等を行う	島くとうば小冊子の配布や活用率、HPでの公開等	【H24～H29年度】 達成市町村割合 71%	進展	
与那国島歴史文化交流支援事業(H25～H28) (与那国町)	市町村事業 ソフト交付金	316百万円 (253百万円)	与那国島に関する多種多様な資料を島内外へアピールすることを目的とした「与那国歴史・文化・交流資料館」を整備する	【H28年度目標】 「与那国島歴史・文化・交流資料館」の完成	【H28年度実績】 「与那国島歴史・文化・交流資料館」の完成	達成	
琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業(H25～R3) (総務部)	ソフト交付金	631百万円 (504百万円)	歴史資料である琉政文書をデジタル化しインターネットで公開する	【H30年度目標】 公開文書へのアクセス数:26,000アクセス	【H30年度実績】 公開文書へのアクセス数:24,267アクセス	達成	
在米沖縄関係資料収集公開事業(H29～R3) (総務部)	ソフト交付金	30百万円 (24百万円)	米国国立公文書館所蔵の戦後の米国統治に関する写真等を収集しインターネットで公開する	【H30年度目標】 写真・動画の収集6,300点	【H30年度実績】 写真・動画の収集6,314点	達成	

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置					
沖縄法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)		

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-イ 文化の担い手の育成

成果指標						背景・要因の分析
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況		
P357	1. 沖縄県芸術文化祭参加者数	10,000人	6,887人(H22)	8,090人(H30)	進展遅れ	<p>(1)沖縄県芸術文化祭参加者数 【進展遅れ】 沖縄県芸術文化祭参加者数の増加への取組として、県内マスコミへの後援依頼、共催依頼を行ったほか、沖縄県立博物館・美術館の本展以外に東村及び恩納村での写真選抜展を行っている。また、新聞の掲載回数を増やしたことから、昨年度より本展等の参加者数が増加しており、進展は遅れているものの参加者は増加している。</p>
	2. 沖縄県高等学校総合文化祭、中学校総合文化祭等への参加者数	12,500人/年	11,600人/年(H23)	12,199人/年(H30)	進展	
	3. 伝承者養成・技術錬磨事業における伝承者養成数(累計)	15,301人	1,519人(H23)	11,194人(H30)	達成見込	
	4. 文化庁等提供事業芸術鑑賞児童生徒数	13,000人	11,834人(H23)	11,881人(H30)	進展遅れ	
P357	5. 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)	65%	58%(H23)	67.3%(H30)	目標達成	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P356	沖縄県芸術文化祭事業費(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	35百万円	沖縄県芸術文化祭を開催し、県民の多様な芸術文化活動を奨励するとともに鑑賞の機会を提供する	【H30年度目標】 沖縄県芸術文化祭の開催1回	【H30年度実績】 沖縄県芸術文化祭の開催1回	達成
	青少年文化活動事業費(H24~R3)(教育庁)	74百万円	本県の中学校や高校の総合文化祭への大会運営費補助や、高等学校文化連盟等が行う派遣費助成への補助を行う	【H30年度目標】 沖縄県高等学校総合文化祭、中学校総合文化祭等への参加者数12,000人	【H30年度実績】 沖縄県高等学校総合文化祭等への参加者数12,199人	達成
	伝承者養成・技術錬磨事業(H24~R3)(教育庁)	26百万円	各無形文化財保存会等が若手実演家・技術者を対象に行う実技研修等に補助を行う	【H30年度目標】 伝承者の養成数1,400人	【H30年度実績】 伝承者の養成数1,482人	達成
	文化振興事業費(H24~R3)(教育庁)	5百万円	県・文化庁・財団等が主催する芸術鑑賞機会提供事業を実施する	【H30年度目標】 鑑賞児童生徒数12,650人	【H30年度実績】 鑑賞児童生徒数11,881人	進展遅れ
P357	教育研究事業費(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	1,149百万円	沖縄県立芸術大学における教育活動及び教員による研究活動を推進する	【H30年度目標】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)62.9%	【H30年度実績】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)67.3%	達成

調整中
(他部会)

(3)伝承者養成・技術錬磨事業における伝承者養成数(累計)

調整中
(他部会)

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-イ 文化の担い手の育成

P357

政策ツール							背景・要因の分析																					
主な予算事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名 (事業年度)</th> <th>事業の種類</th> <th>事業費 (うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸大就職キャリア支援事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)</td> <td>県単事業</td> <td>35百万円</td> <td>芸術文化に特化・関連した職種・業種にターゲットを絞った求人開拓などの就職キャリア支援事業を実施する。</td> <td>【H30年度目標】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む) 62.9%</td> <td>【H30年度実績】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む) 67.3%</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>デザイン・くくり担い手育成事業(H24～R3) (南風原町)</td> <td>市町村事業 ソフト交付金</td> <td>70百万円 (40百万円)</td> <td>伝統工芸品である琉球絣の生産工程のひとつである「デザイン・くくり」の技術者を育成する</td> <td>【H29年度目標】 デザインくくり技術者4名育成</td> <td>【H29年度実績】 デザインくくり技術者4名技術取得</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>							事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	芸大就職キャリア支援事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	35百万円	芸術文化に特化・関連した職種・業種にターゲットを絞った求人開拓などの就職キャリア支援事業を実施する。	【H30年度目標】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む) 62.9%	【H30年度実績】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む) 67.3%	達成	デザイン・くくり担い手育成事業(H24～R3) (南風原町)	市町村事業 ソフト交付金	70百万円 (40百万円)	伝統工芸品である琉球絣の生産工程のひとつである「デザイン・くくり」の技術者を育成する	【H29年度目標】 デザインくくり技術者4名育成	【H29年度実績】 デザインくくり技術者4名技術取得	達成	<p>(4)文化庁等提供事業芸術鑑賞児童生徒数</p> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; text-align: center; padding: 20px; font-size: 24px;">調整中 (他部会)</div>
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																						
芸大就職キャリア支援事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	35百万円	芸術文化に特化・関連した職種・業種にターゲットを絞った求人開拓などの就職キャリア支援事業を実施する。	【H30年度目標】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む) 62.9%	【H30年度実績】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む) 67.3%	達成																						
デザイン・くくり担い手育成事業(H24～R3) (南風原町)	市町村事業 ソフト交付金	70百万円 (40百万円)	伝統工芸品である琉球絣の生産工程のひとつである「デザイン・くくり」の技術者を育成する	【H29年度目標】 デザインくくり技術者4名育成	【H29年度実績】 デザインくくり技術者4名技術取得	達成																						
税制等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>軽減措置の名称(対象年度)</th> <th>適用数量・金額 (24～29年度)</th> <th>目標値(33年度)</th> <th>実績値(29年度)</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>							軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況						<p>(5)県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)</p> <p>【目標達成】</p> <p>県立芸術大学において、芸術活動の継続を希望する卒業・終了生に対して、共同研究員などの大学のインキュベーション機能を周知するなどの取組により、目標値(65%)を、2.3ポイント上回る67.3%となり目標を達成している。卒業生の主な就職先は、伝統工芸、伝統芸能方面のほか、広告、印刷、ウェブコンテンツ制作、演奏家、音響関係など学習した技術・技能を活かせる業種が中心となっている。</p>											
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況																								
努力義務・配慮義務・特例措置 <table border="1"> <thead> <tr> <th>沖振法条文番号・見出し</th> <th>実施主体</th> <th>成果(例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>							沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)																			
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)																										

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成

成果指標						背景・要因の分析	
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	(1)県立博物館・美術館の入場者数 【目標達成】 観光客を含む県内外から幅広く利用者を惹きつけるため、展覧会の内容の充実をはじめ、館内サインやHPの多言語化等、利便性向上や情報発信の強化に取り組んだ結果、展覧会入場者及びイベントへの入場者数は増加し、入館者数の目標値(R3年度)500,000人を達成している。	
P359	1. 県立博物館・美術館の入場者数	500,000人	452,502人(H22)	504,894人(H30)	目標達成		
P359	2. 国立劇場おきなわの入場者数	64,000人	62,497人(H23)	58,417人(H30)	進展遅れ		
P359	3. 県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数	147,000人	149,527人(H23)	167,671人(H30)	目標達成		
記載なし	4. 県文化協会加入率	70.7%	63.4%(H23)	65.8%(H30)	進展遅れ		
政策ツール						(2)国立劇場おきなわの入場者数 【進展遅れ】 台風等の影響により平成30年度の入場者数は伸び悩んだが、普及促進事業でのバス助成や学校でのワークショップ、県内おでかけ公演により、特に若い世代に沖縄の伝統芸能を身近に感じる機会を作ることによって国立劇場おきなわの認知度の強化を図っている。	
主な予算事業							
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
P358	博物館・美術館の管理運営(H24～R3)(文化観光スポーツ部)	748百万円	博物館常設展示の魅力アップや沖縄美術史の認知度向上等、県民や観光客を惹きつける博物館・美術館作りに取り組む	【H30年度目標】 入館者数 474,000人	【H30年度実績】 入館者数 504,894人		達成
P358	伝統芸能公演への支援(H24～R3)(文化観光スポーツ部)	260百万円	国立劇場おきなわと連携して、伝統芸能公演を開催し、若手実演家の育成を図る	【H30年度目標】 伝統芸能公演の開催件数 13件	【H30年度実績】 伝統芸能公演の開催件数 13件		達成
P358	沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業(H24～R3)(文化観光スポーツ部)	899百万円(719百万円)	文化芸術活動の持続的発展を図るため、地域の伝統芸能など文化芸術活動に対して補助を行う	【H30年度目標】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 37.5%	【H30年度実績】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 57.9%		達成
P358	沖縄県文化振興会への支援と連携(H24～R3)(文化観光スポーツ部)	260百万円	(公財)沖縄県文化振興会が実施する文化事業等に対する補助を行う	【H30年度目標】 県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数 147,758人	【H30年度実績】 県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数 167,671人	達成	
記載なし	地域の文化継承・発信支援事業(H24～R3)(文化観光スポーツ部)	57百万円	各地域の伝統行事・芸能等に関するシンポジウム及び地域の伝統芸能を集めた公演を開催する	【H30年度目標】 各地域でのシンポジウム等の開催 3回	【H30年度実績】 各地域でのシンポジウム等の開催 4回	達成	
						(3)県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数 【目標達成】 県内文化団体が行う持続的な文化芸術活動への支援や、(公財)沖縄県文化振興会が実施する沖縄県芸術文化祭・伝統芸能公演等への支援、文化団体が行う文化芸術関連イベントへの後援等を行った結果、着実に来場者数は増加しており目標値を達成している。	

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成

政策ツール							(4)県文化協会加入率 【進展遅れ】 国立劇場おきなわでの伝統芸能公演や各地域でのシンポジウム開催等、自らが住んでいる地域の文化についてさらに興味を持ってもらうとともに、沖縄県文化協会について周知を図ることで文化協会が未結成の市町村に対して発足を促しているものの、各地域の人手不足などにより進展が遅れている。
主な予算事業							
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
生涯学習・文化振興拠点整備事業(H24～H28) (うるま市)	市町村事業 ソフト交付金	1,962百万円 (1,438百万円)	【H28年度目標】 文化振興及び生涯学習を振興するための拠点施設を整備する	【平成28年度実績】 生涯学習・文化振興拠点施設の本体工事完成	生涯学習・文化振興拠点施設の本体工事完成	達成	

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置					
沖縄法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)		

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-エ 文化の発信・交流

成果指標

記載なし

記載なし

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 県が支援した文化交流イベントの来場者数	40,000人	14,960人(H23)	34,419人(H30)	達成見込
2. 世界エイサー大会の来場者数	6,000人	64,900人(H23)	1,500人(H30)	進展遅れ
3. 文化交流を目的に海外へ派遣した生徒数(累計)	700人	10人(H23)	535人(H30)	達成見込
4. 県外・海外からの空手関係者来訪数	9,400人	80人(H24)	7,169人(H30)	達成見込

背景・要因の分析

(1)県が支援した文化交流イベントの来場者数
【達成見込】
 沖縄芸能などを通じて文化関連団体が行う県外・海外との交流を図るための取組に対する支援や、音楽イベントやエイサーを通じた県外、海外との文化交流イベントへの後援など側面的な支援を行った結果、目標値を達成する見込みである。

(2)世界エイサー大会の来場者数
【進展遅れ】
 平成25年度から民間主導型へ移行し、県は、大会開催にあたり、事業の共催や実行委員として運営に関わるなどの側面的支援を行うとともに、コンテスト形式(競技)から交流会形式に変更したことなどから来場者数が減となり、進展が遅れているものの、エイサー等を通じた体験型文化交流に繋がっている。

(3)文化交流を目的に海外へ派遣した生徒数(累計)

調整中
(他部会)

政策ツール

P360

記載なし

主な予算事業

事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
文化観光戦略推進事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	767百万円 (613百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う	【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 13.0%	【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%	達成
世界エイサー大会開催支援事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業	97百万円	県内外、海外のエイサー団体を集めた世界大会を民間主導で開催する	【H30年度目標】 世界エイサー大会の来場者数 1,800人	【H30年度実績】 世界エイサー大会の来場者数 1,500人	概ね達成
芸術文化国際交流(書道)(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	23百万円 (18百万円)	書道分野で活躍する高校生を台湾へ派遣し、文化交流を実施する	【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上	【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 95%	達成
芸術文化国際交流(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	145百万円 (116百万円)	音楽、美術・工芸、郷土芸能の芸術分野で活躍する高校生をドイツ、台湾、アメリカ(ハワイ)へ派遣し、文化交流を実施する	【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上	【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 98%	達成

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-エ 文化の発信・交流

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
沖縄空手の振興 (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	578百万 (462百万円)	国際セミナーの開催や指導者の海外派遣等を実施し、沖縄空手の普及・啓発並びに世界の空手愛好家の来訪促進、指導者・後継者の育成を図る	【H30年度目標】 県外・海外からの空手関係者来訪数 6,900人	【H30年度実績】 県外・海外からの空手関係者来訪数 7,169人	達成
伝統行事・イベントへの支援(H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	521百万円 (293百万円)	各市町村において、伝統文化の継承と観光客誘客を図るため、各種伝統行事やイベントへ支援を行う	行事・イベントへの来場者数等	【平成24～平成29年度】 達成市町村割合 87%	概ね達成

(4)県外・海外からの空手関係者来訪数

調整中
(当部会)

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり

成果指標

P364

P364

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 伝統行事の伝承・復元等に関する公演等の入場者数(累計)	6,021人	0人(H23)	5,258人(H30)	達成見込
2. 県が支援した市町村主催の文化芸術関連イベントの来場者数	13,000人/年	521人/年(H23)	15,375人/年(H30)	目標達成

背景・要因の分析

(1)伝統行事の伝承・復元等に関する公演等の入場者数(累計)
【達成見込】
 地域の伝統芸能を集めた「特選沖縄の伝統芸能」公演及び各地域におけるシンポジウムについて積極的な広報活動に取り組んだことから、R3年度の目標値は達成する見込み。

(2)県が支援した市町村主催の文化芸術関連イベントの来場者数
【目標達成】
 市町村が実施する文化芸術関連イベントへの補助事業の実施や後援等の取組により、来場者数は増加しており、目標値を達成している。

政策ツール

主な予算事業

P363

P363

事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
地域の伝統行事の保存継承や活用を図る取組(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県単事業	57百万円	地域の伝統芸能を集めた公演、及び各地域の伝統行事・芸能等をテーマに文化講演(シンポジウム等)を開催する	【H30年度目標】 地域の伝統芸能を集めた公演 1回	【H30年度実績】 地域の伝統芸能を集めた公演 1回	達成
文化情報等プラットフォーム形成推進事業(H29~R1)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	25百万円 (20百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、県内各地に受け継がれている伝統行事や地域芸能などのイベント情報を一元化したポータルサイトを構築し、情報発信を行う	【H30年度目標】 サイトのアクセス件数 30,000件/年	【H30年度実績】 サイトのアクセス件数 35,637件/年	達成
古民家の保全・継承(H25~R3)(土木建築部)	内閣府計上	10百万円 (5百万円)	地域に根付いた古民家を保存・活用し、地域の活性化を図るため、シンポジウムを行い景観の保全に資する取り組みの普及・促進を行う	【H30年度目標】 シンポジウムの開催 1回	【H30年度実績】 シンポジウムの開催 1回	達成
文化財の保存及び文化財周辺の整備(H24~R3)(複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	588百万円 (471百万円)	文化財を保存するとともに、文化財を観光資源として活用するための周辺整備を行う	文化財保存のための調査及び整備、文化財の説明板設置や散策道等の整備等	【H24~H29年度実績】 達成市町村割合100%	達成

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置					
沖振法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)		

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ウ 文化コンテンツ産業の振興

成果指標						背景・要因の分析	
P366 記載なし P366 記載なし	成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	(1)文化コンテンツ関連産業事業所数 【目標達成】 沖縄文化等を活用したコンテンツ制作に対する投資ファンドを創設し、制作費用に対する資金面への支援や、制作段階に応じたハンズオン支援を行った結果、コンテンツ制作のノウハウが蓄積されたほか、プロデューサー等の人材育成や、文化等を活用したコンテンツの創出等が図られ、県内の文化観光コンテンツ関連産業事業所数は平成28年度に261事業所となっており、目標値を達成している。 (2)県が支援したビジネスの事業化件数(累計) 【進展】 文化芸術活動の持続的発展に資する取組を県内文化団体から公募し、文化資源を活用したビジネス展開に繋がる取組等の支援件数は累計で21件となっており、R3年度の目標値に向けて進展している。	
	1.	文化コンテンツ関連産業事業所数	258事業所	257事業所(H21)	261事業所(H28)		目標達成
	2.	県が支援したビジネスの事業化件数(累計)	30件	3件(H23)	21件(H30)		進展
	3.	観光客の「文化観光」の比率	30%	10.8%(H24)	11.8%(H29)		進展遅れ
4.	観光客の「娯楽・入場費」の消費単価	9,000円	7,831円(H22)	6,485円(H29)	進展遅れ		
政策ツール							
主な予算事業							
	事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P366	文化資源を活用した新事業の創出 (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	899百万円 (719百万円)	文化資源を活用したコンテンツ及びビジネスの創出を図るため、県内事業者による文化資源を活用した新たな事業展開を支援する	【H30年度目標】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 37.5%	【H30年度実績】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 57.9%	達成
P366	沖縄文化等コンテンツ産業創出支援事業 (H24～H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	187百万円 (149百万円)	投資ファンドによるコンテンツ制作資金の供給及び制作段階に応じたハンズオン支援を行う	【H29年度目標】 有望なコンテンツの創出、プロデューサーの育成	【H29年度実績】 プロデューサーの育成 15名	達成
P366	アーツマネージャー育成事業 (H25～H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	126百万円 (97百万円)	文化芸術に係るマネジメントに関する座学及び県内外の文化関連企業等へのOJT派遣を実施する	【H29年度目標】 県外文化芸術関係機関等への派遣人数 2名程度	【H29年度実績】 県外文化芸術関係機関等への派遣人数 2名	達成
P365 P366	文化観光戦略推進事業 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	767百万円 (613百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う	【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 13.0%	【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%	達成

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ウ 文化コンテンツ産業の振興

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					<p>(3)観光客の「文化観光」の比率 【進展遅れ】</p> <p>沖縄の文化・芸能を活用した観光コンテンツのプロモーションを行うとともに、国内外の旅行情報発信サイトやSNS、旅行代理店等との連携、外国人観光客に向けた舞台公演ガイドの多言語化を実施するなど、情報発信することで、舞台公演の鑑賞に繋がる取組を行った結果、アジア地域を中心に、外国人観光客数は増加傾向にあるものの、文化観光が十分認知されていない傾向にあることから、進展が遅れている。</p>
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置					<p>(4)観光客の「娯楽・入場費」の消費単価 【進展遅れ】</p> <p>沖縄の文化・芸能を活用した観光コンテンツのプロモーションを行うなど、県内で実施する舞台公演の鑑賞環境を整えるなどの取組を行っているものの、「文化観光」が沖縄の観光メニューのひとつとして十分に認知されていない傾向にあることから、進展が遅れている。</p>
沖縄法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)			

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

成果指標						背景・要因の分析		
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	<p>(1)スポーツ実施率(成人、週1回以上) 【進展遅れ】 スポレク祭の参加者は8年ぶりに1万人台を達成し、県事業による教室終了後もスポーツを継続する意思がある参加者は80%を超えるなど、生涯スポーツの振興に一定の成果を上げている。しかし、20代から40代の若い世代のスポーツ実施率が低く、また、運動をする人と全くしない人が二極化している現状もあり、進展遅れとなっている。</p>		
P381	1. スポーツ実施率(成人、週1回以上)	65%	39%(H24)	41.4%(H30)	進展遅れ			
P381	2. 国民体育大会総合順位	30位台前半	40位台	43位(H30)	進展遅れ			
P381	3. スポーツコンベンションの県内参加者数	102,000人	66,739人(H22)	104,473人(H29)	目標達成			
	4. 運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり)	6.5㎡	6.0㎡(H22)	6.1㎡(H29)	進展遅れ			
P381	5. 県立社会体育施設の利用者数(奥武山総合運動場のみ)	平均稼働率:84% 770,000人	平均稼働率:68% 472,000人(H23)	平均稼働率:73% 647,000人(H30)	進展			
政策ツール						<p>(2)国民体育大会総合順位 【進展遅れ】 競技力向上対策事業において、トップレベル選手育成、指導者対策、ジュニア強化対策を実施した結果、国民体育大会において、毎年優勝する選手やチームが出ており、一定程度競技力向上は図られてきているものの、点数獲得ができていない競技においては、指導者の養成・確保や、一貫した指導体制の導入が遅れているとみられ、国体総合順位は低迷している。</p> <p>(3)スポーツコンベンションの県内参加者数 【目標達成】 スポーツコミッション沖縄を設置し、市町村や各種競技団体等と連携した広報活動、歓迎式開催、特産品贈呈等に取り組んだ結果、スポーツコンベンションの県内参加者数は増加しており、目標を達成する見込みとなっている。</p>		
主な予算事業								
事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況	
記載なし	社会体育活動支援事業 (H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	27百万円	沖縄県スポーツ・レクリエーション祭の開催及び県立学校体育施設開放事業を実施する	【H30年度目標】 スポレク祭参加者数 10,000人		【H30年度実績】 スポレク祭参加者数 10,193人	達成
記載なし	地域スポーツ活動・健康力向上事業 (H26~R1) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	128百万円	総合型地域スポーツクラブに対する支援強化を実施するとともに、認知度向上を図り、地域住民のスポーツ活動を通じた県民の健康に資する	【H30年度目標】 総合型地域スポーツクラブの認知度 26.5% 健康・スポーツ教室の取組終了後も運動・スポーツを継続して実施する意思がある参加者の割合 80%		【H30年度実績】 総合型地域スポーツクラブの認知度 18.7% 健康・スポーツ教室の取組終了後も運動・スポーツを継続して実施する意思がある参加者の割合 83.3%	概ね達成
記載なし	沖縄県体育協会活動費補助(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	615百万円	県内競技団体を統轄する公益財団法人沖縄県体育協会の運営を支援する	【H30年度目標】 県民体育大会参加人数 9,600人		【H30年度実績】 県民体育大会参加人数 9,675人	達成
P380	競技力向上対策事業費(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	373百万円	各競技団体の主体性を活かした企画提案型競技力向上対策等の各種対策を行う	【H30年度目標】 国民体育大会強化選手数 846名		【H30年度実績】 国民体育大会強化選手数 846名	達成
P380	スポーツコンベンション誘致事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	40百万円	国内外からのスポーツコンベンションの誘致を図るため、情報の発信や各種スポーツコンベンションの歓迎支援策等を実施する	【H30年度目標】 歓迎支援件数 45件	【H30年度実績】 歓迎支援件数 45件	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

政策ツール							背景・要因の分析	
主な予算事業							<p>(4)運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり) 【進展遅れ】 都市基幹公園、大規模公園等において用地買収や園路、広場の整備を行っているが、公園用地の取得に長期間を要し、直近の実績値は目標値を下回っている。R3年度まで供用開始面積が計画どおりに進捗した場合も、人口増加が大きいため進展遅れとなる見込。</p> <p>(5)県立社会体育施設の利用者数(奥武山総合運動場のみ) 【進展】 台風によるイベントの中止や施設閉鎖の影響等もあり、R3年度目標値の8割に止まっているものの、指定管理者と連携し、利用者のニーズに沿った施設の修繕や備品整備及び指定管理者によるヨガ教室や子ども体操教室等の自主事業を推進したことにより、利用者数は増加傾向である。</p>	
P380	スポーツ観光誘客促進事業(H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	758百万円 (606百万円)	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、マロン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展など、沖縄へのスポーツ旅行に係るプロモーションを行う	【H30年度目標】 ・国内観光客数 693万人 ・外国人観光客数 163百万人	【H30年度実績】 ・国内観光客数 700万人 ・外国人観光客数 300万人		達成
P380	スポーツツーリズム戦略推進事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	618百万円 (494百万円)	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出及び定着化に向けた補助を行うとともに、沖縄で開催される国際スポーツ大会等への補助を行う	【H30年度目標】 スポーツイベント開催件数 3件	【H30年度】 スポーツイベント開催件数 4件		達成
P380	スポーツコミッション沖縄体制整備事業(H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	274百万円 (219百万円)	沖縄県体育協会に設置した「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る各種相談対応及び誘致活動等を実施する	【H30年度目標】 競技連盟(各国代表クラス)の合宿件数 26件(うち日本18件、日本以外8件)	【H30年度実績】 【H30年度】 競技連盟(各国代表クラス)の合宿件数 28件		達成
	都市基幹公園等の整備(H24～R3) (土木建築部)	県・市町村 内閣府計上 ハード交付金	13,113百万円 (6,557百万円)	生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するためスポーツやレクリエーション活動の場として利用できる総合公園・運動公園等の整備を行う	【H30年度目標】 整備率 70.9%	【H30年度実績】 整備率 70.5%		達成
記載なし	社会体育施設管理運営費(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	1,314百万円	指定管理制度を活用し、奥武山総合運動場(公の施設)の適切な整備・充実及び管理・運営を行う	【H30年度目標】 県立社会体育施設の利用者数 695,000人	【H30年度実績】 県立社会体育施設の利用者数 647,000人		概ね達成
	真喜屋運動広場整備事業(H25～H29) (恩納村)	市町村事業 ソフト交付金	459百万円 (367百万円)	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、多目的広場としての利用環境を改善する	【H29年度目標】 真喜屋運動広場工事の完了	【H29年度実績】 真喜屋運動広場工事の完了		達成

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置					
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)			

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立

記載なし
記載なし
P446
P446

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	
1.	旅行中に行った活動(エコツアー)	2.2%	1.3%(H23)	1.7%(H29)	進展遅れ	
2.	エンターテインメント創出・観光メニューの商品造成数(累計)	170件	12件(H23)	125件(H30)	達成見込み	
3.	沖縄観光のリポート率(沖縄旅行の回数が2回以上の割合)	23.5%	—	19.4%(H29)	達成見込み	
4.	スポーツコンベンションの開催件数	700件	460件(H22)	631件(H29)	達成見込み	
5.	スポーツコンベンションの県外・海外参加者数	73,000人	75,056(H22)	71,495人(H29)	達成見込み	
6.	スポーツキャンプ・合宿の実施件数	400件	228件(H22)	407件(H29)	達成	
7.	スポーツキャンプ合宿の県外・海外参加者数	13,000人	6,542人(H22)	11,649人(H29)	達成見込み	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
環境共生型観光の推進(H24~R3) (文化観光、環境部)	県事業 ソフト交付金	百万円 (百万円)	保全利用協定締結地区への支援やエコツーリズムを推進する団体による普及啓発活動等を支援した	【H30年度】 環境保全活動支援数: 1団体 プロモーション支援: 1団体	【H30年度】 環境保全活動支援数: 1団体 プロモーション支援: 1団体	達成
ウェルネスツーリズム等の推進(H24~H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	百万円 (百万円)	ウェルネス・医療ツーリズム等に関連した事業に先制的に取り組む事業者等への支援を実施	【H29年度】	【H29年度実績】	
沖縄の観光資源を活用したエンターテインメント創出・観光メニュー開発等の支援(H24~R3)	県事業 ソフト交付金	百万円 (百万円)	観光メニューやMICEメニューの開発について、民間企業等の有望なプロジェクトを支援した。	【H30年度】 観光商品の開発支援: 12件	【H30年度】 観光商品の開発支援: 12件	達成
カップルアニバーサリーツーリズム拡大事業(リゾートウェディング誘致強化事業)(H24~R3)	県事業 ソフト交付金	百万円 (百万円)	リゾートウェディング等の誘致に向けて、国内外でのプロモーションを実施	【H30年度】 旅行博等出展数: 8回	【H30年度実績】 旅行博等出展数: 9回 リゾートウェディング実施組数: H23: 8,872組⇒H30: 17,115組	達成
外国人観光客受入体制強化事業(H〇〇~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	百万円 (百万円)	多言語による観光案内や通訳サービス、HP等の翻訳費用の支援など、外国人観光客受入に係る取組を支援した	【H30年度】 多言語コンタクトセンター対応受入インフラ整備支援	【H30年度】 多言語コンタクトセンター対応: 6,387回 受入インフラ整備支援: 48件	進展
調整中 (当部会)						(1)旅行中に行った活動(エコツアー)
調整中 (当部会)						(2)エンターテインメント創出・観光メニューの商品造成数(累計)
調整中 (当部会)						(3)沖縄観光のリポート率(沖縄旅行の回数が2回以上の割合)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							<p>(4)スポーツコンベンションの開催件数及び県外・海外参加者数 【達成見込み】 県外スポーツイベント等における沖縄県へのスポーツ旅に係る誘客プロモーション、受入主体となる市町村や競技団体等と連携したスポーツコミッション沖縄におけるスポーツコンベンションの各種相談対応等に取り組んでいることから、R3年度時には成果目標を達成できると見込んでいる。</p> <p>(5)スポーツキャンプ・合宿の実施件数及び県外・海外参加者数 【達成見込み】 県外スポーツイベント等における沖縄県へのスポーツ旅に係る誘客プロモーション、受入主体となる市町村や競技団体等と連携したスポーツコミッション沖縄におけるスポーツコンベンションの各種相談対応、プロ野球キャンプ及びサッカーキャンプに係る誘客・誘致活動等に取り組んでいることから、県外・海外参加者数については、R3年度までに目標値を達成できると見込んでいる。</p>
事業名 (事業年度)	事業の種類別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
記載なし スポーツツーリズム戦略推進事業(H24～R3)	県事業 ソフト交付金	618百万円 (494百万円)	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、スポーツイベントの創出・定着に取り組む事業者を支援した。	【H30年度】 スポーツツーリズムモデル事業数:3件	【H30年度】 スポーツツーリズムモデル事業数:4件	達成	
記載なし スポーツ観光誘客促進事業(H24～R3)	県事業 ソフト交付金	758百万円 (606百万円)	スポーツイベントやスポーツ環境のプロモーション等を行い、県内外からの誘客や県民がスポーツに触れる機会の創出を図る。	【H30年度目標】 ・国内観光客数 693万人 ・外国人観光客数 163百万人	【H30年度実績】 ・国内観光客数 700万人 ・外国人観光客数 300万人	達成	
記載なし プロ野球キャンプ等訪問促進事業(H24～R3)	県事業 ソフト交付金	429百万円 (343百万円)	ファン感謝祭を活用した情報発信、キャンプ開幕イベント実施、ガイドブックの配布等により、県民挙げての歓迎の機運醸成を図った。	【H30年度】 プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客: 75,000人	【H30年度】 プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客: 84,000人	達成	
P445 サッカーキャンプ誘致戦略推進事業(H24～R3)	県事業 ソフト交付金	397百万円 (318百万円)	県外クラブの誘致活動や受入市町村の芝環境の整備、ガイドブックやWeb等による情報発信を実施した	【H30年度】 ・プロサッカーキャンプを目的とした観光客数: 5,763人 ・プロサッカーキャンプ件数: 23件 ・アマチュアサッカーキャンプ件数: 1件	【H30年度】 ・プロサッカーキャンプを目的とした観光客数: 10,858人 ・プロサッカーキャンプ件数: 24件 ・アマチュアサッカーキャンプ件数: 4件	達成	
記載なし スポーツ観光交流拠点整備事業(H24～H28) (宮古島市)	市町村事業 ソフト交付金	4,340百万円 (3,472百万円)	年間を通して軽スポーツが楽しめる、地域の伝統文化に親しむことのできる全天候型のスポーツ・伝統文化交流拠点施設を整備する	【H28年度】 スポーツ観光交流拠点の整備完了	【H28年度】 スポーツ観光交流拠点の整備完了	達成	
P377 P380 P381 P446 スポーツコンベンション推進事業(H25～H29) (沖縄市)	市町村事業 ソフト交付金	70百万円 (56百万円)	プロスポーツやアマチュア団体の合宿誘致を行うとともに、プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベント等を開催する	【H29年度】 スポーツ合宿延泊者数: 16,795人 ホームタウンプロスポーツチーム年間来場者数: 122,563人	【H29年度】 スポーツ合宿延泊者数: 19,911人 ホームタウンプロスポーツチーム年間来場者数: 142,183人	達成	
観光振興等支援事業(H25～H29) (豊見城市)	市町村事業 ソフト交付金	233百万円 (98百万円)	観光開発やイベントへの支援を行うとともに、観光振興に取り組む担い手となる団体を育成。新たな特色ある観光事業の誘致や観光PR活動を行う。	【H29年度】 観光地点等入込客数: 464万人	【H29年度】 観光地点等入込客数: 506万人	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

--	--

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24~29年度)	目標値(R3年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
施策展開番号・名称	3-(6)-ア 沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出

成果指標					背景・要因の分析		
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況			
P501	1. スポーツ関連ビジネスモデル実施事業者数	32事業者	4事業者(H23)	22事業者(H29)	進展	<p>(1)スポーツ関連ビジネスモデル実施事業者数 【進展】 スポーツ関連産業振興戦略推進事業において、平成29年度までに延べ22事業者に対し支援を行っている。H30年11月時点で全モデル実施事業者が事業を継続しており、自走化が図られているものの、スポーツ関連ビジネスモデル実施事業者数の目標値については、平成29年度に事業終了したことに伴い、令和3年度の目標値の6割程度にとどまっている。</p> <p>(2)文化コンテンツ関連事業所数 【目標達成】 沖縄文化等を活用したコンテンツ制作(映像系、エンターテインメント系、ゲーム系)に対する投資ファンドを創設し、制作費用に対する資金面への支援や、制作段階に応じたハンズオン支援を行った結果、県内コンテンツ関連事業者において自社コンテンツ製作ノウハウが蓄積されたほか、プロデューサー等の人材育成、沖縄の文化等を活用したコンテンツの創出等が図られた。県内の文化観光コンテンツ関連産業事業所数は平成28年度に261事業所となっており、目標を達成している。</p> <p>(3)沖縄エステティック・スパ利用県外観光客市場規模(エステ・スパを行った人×総消費単価)</p>	
P501	2. 文化コンテンツ関連事業所数	258事業所	257事業所(H21)	261事業所(H28)	目標達成		
	3. 沖縄エステティック・スパ利用県外観光客市場規模(エステ・スパを行った人×総消費単価)	232億円	170億円(H24)	213.4億円(H30)	達成見込		
政策ツール							
主な予算事業							
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
P656	芝人養成事業(H24～H28)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	222百万円(178百万円)	スポーツキャンプ誘致におけるインフラ整備として、芝管理の専門知識と技術を兼ね備えた人材の養成を行う	【H28年度目標】 専門的管理技術を有する人材育成:5名	【H28年度実績】 専門的管理技術を有する人材育成:5名	達成
P501	スポーツ関連産業振興戦略推進事業(H25～H29)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	218百万円(168百万円)	スポーツ関連ビジネスモデル事業及びスポーツ関連ビジネス企画コンテストを実施する	【H29年度目標】 新たな産業創出件数4件	【H29年度実績】 新たな産業創出件数7件	達成
記載なし	スポーツツーリズム戦略推進事業(H24～R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	618百万円(494百万円)	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出及び定着化に向けた補助を行うとともに、沖縄で開催される国際スポーツ大会等への補助を行う	【H30年度目標】 スポーツイベント開催件数3件	【H30年度】 スポーツイベント開催件数4件	達成
					調整中(他部会)		

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
施策展開番号・名称	3-(6)-ア 沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
P500 沖縄文化等コンテンツ 産業創出支援事業 (H24～H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	187百万円 (149百万円)	沖縄の文化等を活用した コンテンツ制作プロジェクト に対して投資ファンドに よる制作資金の供給及び 制作段階に応じたハンズ オン支援を行う	【H29年度目標】 有望なコンテンツの創 出、プロデューサーの 育成	【H29年度実績】 プロデューサーの育成 15名	達成	
記載なし 文化資源を活用した新 事業の創出 (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	889百万円 (719百万円)	文化資源を活用したコン 텐츠及びビジネスの創 造を図るため、県内事業 者による文化資源を活用 した新たな事業展開を支 援する	【H30年度目標】 文化芸術活動数が前年 度より増加した団体の 割合 37.5%	【H30年度実績】 文化芸術活動数が前 年度より増加した団体の 割合 57.9%	達成	
記載なし アーツマネージャー育 成事業(H25～H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	126百万円 (97百万円)	文化芸術に係るマネジメ ントに関する座学及び県 内外の文化関連企業等 へのOJT派遣を実施する	【H29年度目標】 県外文化芸術関係機関 等への派遣人数 2名 程度	【H29年度目標】 県外文化芸術関係機 関等への派遣人数 2 名	達成	
沖縄エステティック・ス パ市場拡大支援事業 (H24～H26) (商工労働部)	県単事業		沖縄エステティック・ス パの国内外における市場 拡大を図るため、海外か らの顧客にも対応できる 人材育成、商品開発及び プロモーション活動を行う	【H26年度目標】 プロモーション開催件 数 3件	【H26年度実績】 プロモーション開催件 数 4件	達成	
ウェルネスツーリズム 等の推進 (H29～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金		ウェルネス・医療ツーリ ズム等に関連した事業に 先進的に取り組む事業者 等の支援を行う	【H30年度目標】 ※部局要確認	【H30年度実績】 ※部局要確認		

沖縄振興計画 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
施策展開番号・名称	3-(6)-ア 沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置					
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)			

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の推進

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	(1)次世代ウチナーネットワーク参加青少年数(累計) 【達成見込】 ウチナーネットワーク参加青少年数は平成30年度は1,630人と計画値を上回っており、県が実施する交流事業等を通して参加者のネットワーク構築が着実に進んでいることから、R3年度の目標値を達成する見込みである。 (2)次世代ウチナーネットワーク参加者とのネットワークの継続 【進展】 平成30年度は、次世代ウチナーネットワーク参加者1,680人の内、連絡が取れるネットワークのある参加者が628人おり、率で38.5%となり計画値を上回っている。県が実施する交流事業等を通して参加者のデータを蓄積・更新し、ネットワーク構築が着実に進んでいることから、R3年度の目標値に向けて進展している。 (3)世界のウチナーンチュ大会イベント参加者数(延べ人数) 【進展遅れ】 平成28年度の第6回大会の実績値は429,168人で、令和3年度の目標値の達成に向けては、一般県民向けの広報等の取組を充実させることから、R3年度の目標値を達成する見込みである。
P617	1. 次世代ウチナーネットワーク参加青少年数(累計)	1,706人	1,176人(H23年度)	1,630人	達成見込	
P617	2. 次世代ウチナーネットワーク参加者とのネットワークの継続	50.0%	14.8%(H23年度)	38.5%	進展	
P617	3. 世界のウチナーンチュ大会イベント参加者数(延べ人数)	450,000人 (33年度予定) (第7回大会)	418,030人 (H23年度) (第5回大会)	429,168人 (H28年度)	進展遅れ	
	4. 世界のウチナーンチュ大会の関与の県内市町村数	37市町村 (33年度予定) (第7回大会)	30市町村 (H23年度) (第5回大会)	30市町村 (H28年度)	進展遅れ	
	5. 外国人観光客数	400.0万人	30.1万人 (H23年度)	300万人	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P143	ウチナーネットワークの強化推進 (H24~R3) (文化観光スポーツ部)	00百万円 (00百万円)	10月30日「世界のウチナーンチュの日」を世界中で沖縄の風土や伝統文化等に想いを馳せる象徴的な日として定着させる様々な取組を実施	【H30年度目標】 県人会35団体、県内19団体(市町村を含む)	【H30年度実績】 県人会12団体、県内20団体(市町村を含む)	未達成
	沖縄観光国際化ビッグバン事業 (H24~R3) (文化観光スポーツ部)	百万円 (百万円)	外国人観光客数の誘致強化のため、「国際旅客ハブ」化の促進、チャーター便の就航、新規路線の就航、既存便の増便・大型化、トランジット等の交通ネットワーク拡大を促すとともに、広告プロモーション、旅行博覧会への出展、沖縄観光セミナーなどの事業を実施	【H30年度目標】	【H30年度実績】	
	クルーズ船プロモーション事業 (H24~R3) (文化観光スポーツ部)	百万円 (百万円)	国内外のクルーズ船社への誘致活動や旅行会社等と連携した商品造成支援等を行うとともに、受入体制を強化し、クルーズ船の寄港促進を図る	【H30年度目標】	【H30年度実績】	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の推進

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業							(4)世界のウチナーンチュ大会の関与の県内市町村数 【進展遅れ】 県系移民の出身地でない離島地域については、移民関係の取組について希薄であることが理由で関与の市町村数の進展が遅れている。
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
沖縄県高校生海外雄飛プロジェクト(H24~R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	49百万円 (32百万円)	沖縄とハワイ双方向において将来の展望等について、共に学び考える機会を設けることで、自国と他国の歴史や文化を尊重できる国際社会に貢献する人材の育成を図る	【H30年度目標】 高校生受入数 25人 高校生派遣数 25人	【H30年度実績】 高校生受入数 13人 高校生派遣数 25人	概ね達成	
アジア・ビジネス・ネットワーク事業(H28~R3) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	94百万円 (75百万円)	海外企業が投資や立地を検討する際に必要となる情報について、ワンストップでサポートする窓口を設置	【H30年度目標】 県内への投資を検討するに至った企業数 12社	【H30年度実績】 県内への投資を検討するに至った企業数 18社 (相談件数103件)	達成	
海外移住者子弟の研修受入(H24~R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	36百万円 (27百万円)	海外移住者子弟を研修生として受入、交流を行うとともに、相互の歴史や文化を学習させる。	海外移住者子弟受入人数、研修後のアンケート実施による研修評価	【H24~H29年度実績】 達成市町村の割合88%	概ね達成	

努力義務・配慮義務・特例措置		
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

(5)外国人観光客数

調整中
(当部会)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-イ 世界と共生する社会の形成

記載なし
記載なし
P619

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	<p>(1)海外留学・交流派遣数(累計) 【達成見込】 国際性に富む人材育成留学事業、海外サイエンス体験短期研修(グローバル・リーダー育成海外短期研修)、沖縄県高校生海外雄飛プロジェクトにおける海外留学・交流派遣数については順調に実施されており、事業の目標達成および令和3年度の成果目標は達成できる見込みである。</p> <p>(2)沖縄県にずっと住み続けたい在住外国人等の割合 【進展遅れ】 住みたくない理由としては「母国の家族と暮らしたい」「いい仕事がない」「親しい人がいない」「家族や子育ての環境」などの理由が上位に挙げられていることから、在住外国人の労働環境の改善やコミュニケーション、生活支援等にかかる支援事業をより実施するとともに、アンケート調査方法について変更があったため、今後は変更後の調査方法を実施し、目標値の達成に取り組む。</p> <p>(3)沖縄文化に関わる活動を行っている在住外国人等の割合 【進展遅れ】 進展遅れになっているものの、別項目において、「地域住民と交流したい」や「日本や地元文化を学びたい」人の割合は半数以上いることから、在住外国人と地域住民が協働して地域づくりや文化交流を行うことができる機会の創出を促進するとともに、アンケート調査方法について変更があったため、今後は変更後の調査方法を実施し、目標値の達成に取り組む。</p>
1.	海外留学・交流派遣数(累計)	2,944人	124人(H23年度)	2,325人(H30年度)	達成見込	
2.	沖縄県にずっと住み続けたい在住外国人等の割合	80.0%	69%(H20年度)	64.3%(H29年度)	進展遅れ	
3.	沖縄文化に関わる活動を行っている在住外国人等の割合	32.0%	22%(H20年度)	23.7%(H29年度)	進展遅れ	
4.	病院での診療時に医師との対話で困った在住外国人等の割合	12.0%	22%(H20年度)	28.4%(H29年度)	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
外国青年招致事業(H24~R3)(教育庁)	県単事業	1,513百万円(百万円)	外国語教育の充実・改善を図ると共に、地域レベルの交流推進を図ることを通じて諸外国との相互理解を深め、国際化を推進するために、外国語指導助手(ALT)を全ての県立学校へ配置、または訪問の実施	【H30年度目標】 配置人数 49人	【H30年度実績】 配置人数 50人	達成
国際性に富む人材育成留学事業(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	1,175百万円(940百万円)	国際性と個性を涵養し、グローバルに活躍できる人材の育成を図るため、高校生をアメリカ、欧州、アジア、オセアニア、南米諸国へ約1年間派遣を実施	【H30年度目標】 留学派遣者数 80人	【H30年度実績】 留学派遣者数 85人	達成
海外サイエンス体験短期研修(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	86百万円(69百万円)	グローバルな視点を持った世界で主体的に活躍できるリーダーを育成する基礎作りを図るため、海外で研究機関等の訪問、現地高校・大学等での授業参加などを通して理系分野の人材育成の基礎作りを図る	【H30年度目標】 派遣者数 25人	【H30年度実績】 派遣者数 20人	概ね達成
沖縄県高校生海外雄飛プロジェクト(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	49百万円(32百万円)	沖縄とハワイ双方向において将来の展望等について、共に学び考える機会を設けることで、自国と他国の歴史や文化を真に尊重できる国際社会に貢献する人材の育成を図る	【H30年度目標】 受入数 25人 派遣数 25人	【H30年度実績】 受入数 25人 派遣数 25人	概ね達成

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-イ 世界と共生する社会の形成

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(4)病院での診療時に医師との対話で困った在住外国人等の割合 【進展遅れ】 進展遅れの要因としては、基準値年と比べて在住外国人が倍近く増加しており、国籍も多様化していることが挙げられる。このため医療通訳ボランティア等傷病患者等の対応が可能な人材の育成を促進することにより、目標値の達成に向けて取り組む。
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
P618 P619 多文化共生社会に対する県民向け取組(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業	百万円 (百万円)	在住外国人等を対象としたアンケート調査を実施し、県内の実情を調査するとともに、シンポジウムを実施	—	—	—	
医療通訳ボランティアの利用普及(H24～R3) (教育庁)	—	百万円 (百万円)	在住外国人との共生社会に向けた環境整備の一助として、在住外国人のために医療通訳ボランティアを育成する養成講座、ステップアップ講座を実施	—	—	—	
案内表示の充実強化(道路案内標識等) (H25～R3) (土木建築部)	ハード交付金	1,464百万円 (1,171百万円)	道路案内標識の適切な設置および修繕・更新を行うとともに県内の主要な地名を示す目標地や主要な観光地を示す著名地点等をローマ字、英語を併記することで外国人観光客等の道路利用者に対してわかりやすい情報提供を実施	【H30年度目標】 案内標識の設置・更新・修繕 12基	【H30年度実績】 案内標識の設置・更新・修繕 74基	達成	
P618 国際協力レポーター事業(おきなわ国際協育人材育成事業) (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	264百万円 (211百万円)	県内高校生を、アジアの開発途上国に派遣し、国際協力・貢献活動の現場視察及び現地の人々との交流を行う。あわせて、ホームページやSNSでの情報発信や、マスコミ報道、ラジオ出演を通じて、国際協力・貢献活動の推進に積極的に取り組む沖縄県の姿を発信する	【H30年度目標】 派遣数:39人	【H30年度実績】 派遣数:32人	概ね順調	
P618 国際協力理解促進事業(おきなわ国際協育人材育成事業) (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	264百万円 (211百万円)	国際協力活動の専門家やレポーター事業参加者などが県内の中学校・高校で国際協力に関する出前講座や体験発表を行い、国際協力への取組やその重要性を紹介し、グローバルな視点を持った人材育成を図る	【H30年度目標】 派遣校数:20校	【H30年度実績】 派遣校数:21校	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-イ 世界と共生する社会の形成

政策ツール			背景・要因の分析
努力義務・配慮義務・特例措置			
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(2) 国際協力・貢献活動の推進
施策展開番号・名称	4-(2)-ア アジア・太平洋地域の共通課題に対する技術協力等の推進

成果指標						背景・要因の分析	
		成果指標	目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況	
P623	1.	JICA沖縄の海外研修員受け入れに協力する県内団体数	25団体	8団体(H22)	24団体(H29)	達成見込み	
P623	2.	JICA沖縄と連携し技術協力に取り組む県内団体数(海外研修員受入除く)(累計)	23団体	10団体(H22)	23団体(H30)	達成	
政策ツール						<p>(1) JICA沖縄の海外研修員受け入れに協力する県内団体数 【達成見込み】 JICA沖縄や県の関係機関との意見交換に取り組むなど、研修員受入団体数は、直近の現状値である平成29年度で24団体となっており、着実に増加してきており、目標値を達成する見込みである。また、平成29年度JICA沖縄では、55のコースで384人の技術研修員を受け入れた。沖縄県企業局をはじめ県でも多くの課がJICAの研修に協力しており、国際協力・貢献活動に対する理解が深まっている。 引き続き、年2回の連絡協議会を通し、県庁内部との情報交換を行っていく。</p> <p>(2) JICA沖縄と連携し技術協力に取り組む県内団体数(海外研修員受入除く)(累計) 【達成】 JICA沖縄と県で協力が可能な技術的な分野について具体的な連携に向けて関係部局との情報共有に取り組むなど、草の根技術協力に取り組む県内団体数は順調に増加し、平成30年度は23団体となったことから、目標値は達成している。今後は新たな分野での協力可能性を模索するなど、JICA沖縄と連携し、引き続き国際協力・貢献活動を推進していく。</p>	
主な予算事業							
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
水道事業の技術交流・技術協力(H24～R3)(企業局)	県事業 —	—	海外研修員を受け入れ、島嶼地域に適合した水道事業の運営及び水資源の保全に関するノウハウ移転を行う。	—	【H30年度】 海外研修員受入人数 5人		達成
建設産業の技術交流・技術協力(H24～R3)(土木建築部)	県事業 —	—	海外研修員を受け入れ、「道路維持管理」に関して講義と現場視察等を行う。	【H30年度】 海外研修員受入人数 5人	【H30年度】 海外研修員受入人数 11人		達成
海外からの技術研修員の受入れの促進(H24～R3)(文化観光スポーツ部)	JICA沖縄、県等 —	—	JICAの研修員受入事業に県として協力するため、JICAと県の連絡協議会等を開催。	—	【H30年度】 受入団体数 19団体		達成
草の根技術協力の促進(H24～R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 —	—	草の根技術協力事業を含む、JICA事業と県が協力できる技術的な部分の連携に向け、関係部局との情報共有を行う。	【H30年度】 草の根技術協力に取り組む県内団体数 19団体	【H30年度】 草の根技術協力に取り組む県内団体数 23団体	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(2) 国際協力・貢献活動の推進
施策展開番号・名称	4-(2)-ア アジア・太平洋地域の共通課題に対する技術協力等の推進

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							建設産業の技術交流・技術協力 (H24～R3) (土木建築部) 平成26年度からJICA沖縄と連携し、途上国の研修生を対象とした「道路維持管理」に関する講義へ、技術系職員を派遣すると共に、現場視察の受け入れを行っている。研修生の受け入れ人数について、目標を達成している。
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置							
沖振法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)				
			・				
			・				
			・				
			・				

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進

成果指標						背景・要因の分析	
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	(1-1)中高生の英語力(中学3年生英検3級以上相当の英語力を有している生徒の割合) (1-2)中高生の英語力(高校3年生英検準2級以上相当の英語力を有している生徒の割合) 調整中 (他部会)		
1-1. 中高生の英語力(中学3年生英検3級以上相当の英語力を有している生徒の割合)	60.0%	29.2%(H27年度)	37.1%(H30年度)	進展遅れ			
1-2. 中高生の英語力(高校3年生英検準2級以上相当の英語力を有している生徒の割合)	60.0%	18.1%(H24年度)	46.3%(H30年度)	進展			
2. 英検準1級取得者数(高校生)	100人	35人(H23年度)	105人(平成29年)	目標達成			
4. ICT関連資格の取得者数(高校)	500人	329人(H24年度)	481人(H30年度)	達成見込			
政策ツール						(2)英検準1級取得者数(高校生) 調整中 (他部会)	
主な予算事業							
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
外国青年招致事業(H24~R3)(教育庁)	県単事業	1,084百万円(百万円)	特別支援学校を含む県立学校にALTを配置又は訪問し、語学指導等に生徒のコミュニケーション能力の向上を図った	【平成30年度目標】 配置人数 49名	【平成30年度実績】 配置人数 50名		達成
県内体験交流推進(英語立県沖縄推進戦略事業)(H24~R3)(教育庁)	県単事業	10百万円(百万円)	外国語と深い関わりのある機関、OISTやJICA沖縄等との連携を通して、外国語や異文化を幅広く理解し、興味を喚起	【平成30年度目標】 訪問生徒数:100人	【平成30年度実績】 訪問生徒数:308人		達成
英検合格推進モデル校の設置(英語立県沖縄推進戦略事業)(H24~R3)(教育庁)	県単事業	39百万円(百万円)	県立高等学校(全日制・定時制)の全60校の2年生を対象に英検IBAテストを実施し、生徒の英語力の向上を図った	【平成30年度目標】 設置校数:30校	【平成30年度実績】 設置校数:60校	達成	
小中高大が連携した英語教育研究(英語立県沖縄推進戦略事業)(H24~R3)(教育庁)	県単事業	13百万円(百万円)	外国語活動及び英語の授業において、他の模範となる優れた授業力を備えた教育を発掘し、授業の公開を通じて沖縄県の教員の授業力向上を図るため、英語マイスター教員発掘事業により、英語マイスターの認定等を実施	【平成30年度目標】 実行委員会の開催数:6回	【平成30年度実績】 実行委員会の開催数:8回	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							<p>(3)海外留学・交流派遣数(累計)</p> <div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 20px; text-align: center; font-size: 24px; margin: 10px 0;">調整中 (他部会)</div> <p>(4) ICT関連資格の取得者数(高校)</p> <p>【達成見込】</p> <div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 20px; text-align: center; font-size: 24px; margin: 10px 0;">調整中 (他部会)</div>
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
国際性に富む人材育成 留学事業 (H24～R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	1,175百万円 (940百万円)	国際性と個性を涵養し、グローバルに活躍できる人材の育成を図るため、高校生をアメリカ、欧州、アジア、オセアニア、南米諸国へ約1年間派遣	【平成30年度目標】 留学派遣者数: 80人	【平成30年度実績】 留学派遣者数: 85人	達成	
沖縄県高校性海外雄飛プロジェクト (H24～R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金 県単事業	49百万円 (32百万円)	沖縄とハワイ双方向において将来の展望等について、共に学び考える機会を設けることで、自国と他国の歴史や文化を真に尊重できる国際社会に貢献する人材を育成	【平成30年度目標】 受入数: 25人 派遣数: 25人	【平成30年度実績】 受入数: 13人 派遣数: 25人	概ね達成	
情報教育の充実 (H24～R3) (教育庁)	—	百万円 (百万円)	進歩の著しい情報通信産業を担う人材を育成するため、情報技術を体系的・専門的に学ぶことができる専門教科「情報」において情報技術の進展に的確に対応した教育活動を展開	【平成30年度目標】 情報教育に関する研修参加者数: 10人	【平成30年度実績】 情報教育に関する研修参加者数: 10人	達成	
海外への研修等派遣 (H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	221百万円 (162百万円)	国際的視野を深め、国際化時代に対応しうる国際性に富む人材を育成するため、青少年を海外へ派遣する	・派遣後のアンケート調査(国際的や視野が深まった等) ・派遣後の英検合格率等	【H24～H29年度実績】 達成市町村の割合91%	達成	
小中学校における英語指導員等の配置 (H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	1,892百万円 (1,494百万円)	小中学校に英語指導員等を配置し、英語指導を実施することにより、英語能力の向上を図る	・英検〇級レベルの生徒割合 ・英語学習への興味・関心度	【H24～H29年度実績】 達成市町村の割合92%	達成	
小中学校における電子黒板等ICT機器の整備とICT指導員等の配置 (H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	4,423百万円 (3,514百万円)	小中学校において電子黒板等ICT機器を整備するとともに、ICT専門員を派遣する。	電子黒板等を使った授業で、分かりやすいと答えた生徒の割合等	【H24～H29実績】 達成市町村の割合80%	概ね達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進

政策ツール	背景・要因の分析

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進

成果指標						背景・要因の分析																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値(R3年度)</th> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 理系大学への進学率</td> <td>20.0%以上</td> <td>13.8%(23年3月卒)</td> <td>18.5%(30年3月卒)</td> <td>達成見込</td> </tr> <tr> <td>2. 科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)</td> <td>200件以上</td> <td>44件(23年度)</td> <td>239件</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>3. 県出身日本代表スポーツ選手数(全ての国際大会)</td> <td>33名/年</td> <td>23名/年(24年度)</td> <td>20名/年</td> <td>進展遅れ</td> </tr> <tr> <td>4-1. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(団体)</td> <td>6団体</td> <td>団体:6団体(20年度)</td> <td>団体:4団体</td> <td>進展遅れ</td> </tr> <tr> <td>4-2. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(個人)</td> <td>24人以上</td> <td>個人:23人(20年度)</td> <td>個人:18人</td> <td>進展遅れ</td> </tr> <tr> <td>5-1. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(中)</td> <td>13部門/58件</td> <td>12部門/53件(23年度)</td> <td>12部門/72件</td> <td>進展</td> </tr> <tr> <td>5-2. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(高)</td> <td>17部門/57件</td> <td>16部門/52件(23年度)</td> <td>18部門/41件</td> <td>進展遅れ</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	1. 理系大学への進学率	20.0%以上	13.8%(23年3月卒)	18.5%(30年3月卒)	達成見込	2. 科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)	200件以上	44件(23年度)	239件	達成	3. 県出身日本代表スポーツ選手数(全ての国際大会)	33名/年	23名/年(24年度)	20名/年	進展遅れ	4-1. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(団体)	6団体	団体:6団体(20年度)	団体:4団体	進展遅れ	4-2. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(個人)	24人以上	個人:23人(20年度)	個人:18人	進展遅れ	5-1. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(中)	13部門/58件	12部門/53件(23年度)	12部門/72件	進展	5-2. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(高)	17部門/57件	16部門/52件(23年度)	18部門/41件	進展遅れ	<p>(1)理系大学への進学率</p> <p>調整中 (他部会)</p>
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況																																										
1. 理系大学への進学率	20.0%以上	13.8%(23年3月卒)	18.5%(30年3月卒)	達成見込																																										
2. 科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)	200件以上	44件(23年度)	239件	達成																																										
3. 県出身日本代表スポーツ選手数(全ての国際大会)	33名/年	23名/年(24年度)	20名/年	進展遅れ																																										
4-1. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(団体)	6団体	団体:6団体(20年度)	団体:4団体	進展遅れ																																										
4-2. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(個人)	24人以上	個人:23人(20年度)	個人:18人	進展遅れ																																										
5-1. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(中)	13部門/58件	12部門/53件(23年度)	12部門/72件	進展																																										
5-2. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(高)	17部門/57件	16部門/52件(23年度)	18部門/41件	進展遅れ																																										
政策ツール						<p>(2)科学技術にかかる体験型講座開</p> <p>調整中 (他部会)</p>																																								
<p>主な予算事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業・取組(事業年度)</th> <th>事業の種別</th> <th>事業費(うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沖縄科学技術向上事業(H24~R3)(教育庁)</td> <td>県単事業</td> <td>37百万円</td> <td>科学に対する興味や関心を高めるため、高校生を対象に先端研究機関等へ派遣</td> <td>【平成30年度目標】 先端研究施設への生徒派遣人数:30人</td> <td>【平成30年度実績】 先端研究施設への生徒派遣人数:48人</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>科学技術への興味関心を高める取組(H24~R3)(企画部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>386百万円 (309百万円)</td> <td>児童を対象とした科学教室の自主開催支援や中学生及び高校生を対象とした科学教育プログラムを実施</td> <td>【平成30年度目標】 出前講座等開催数10回</td> <td>【平成30年度実績】 出前講座等開催数70回</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>海外サイエンス体験短期研修(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>86百万円 (69百万円)</td> <td>カナダ・ブリティッシュコロンビア州へ、高校生を派遣し研究機関等の訪問、現地高校大学等授業参加などを実施</td> <td>【平成30年度目標】 派遣数:25人</td> <td>【平成30年度実績】 派遣数:20人</td> <td>概ね達成</td> </tr> <tr> <td>国民体育大会等派遣事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)</td> <td>県単事業</td> <td>749百万円</td> <td>都道府県対抗で実施する国民体育大会の本大会、冬季大会に選手・監督を派遣する。また、国民体育大会の予選大会である九州ブロック大会に選手を派遣</td> <td>【平成30年度目標】 国民体育大会選手派遣人数:300人</td> <td>【平成30年度実績】 国民体育大会選手派遣人数:302人</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>							事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	沖縄科学技術向上事業(H24~R3)(教育庁)	県単事業	37百万円	科学に対する興味や関心を高めるため、高校生を対象に先端研究機関等へ派遣	【平成30年度目標】 先端研究施設への生徒派遣人数:30人	【平成30年度実績】 先端研究施設への生徒派遣人数:48人	達成	科学技術への興味関心を高める取組(H24~R3)(企画部)	県事業 ソフト交付金	386百万円 (309百万円)	児童を対象とした科学教室の自主開催支援や中学生及び高校生を対象とした科学教育プログラムを実施	【平成30年度目標】 出前講座等開催数10回	【平成30年度実績】 出前講座等開催数70回	達成	海外サイエンス体験短期研修(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	86百万円 (69百万円)	カナダ・ブリティッシュコロンビア州へ、高校生を派遣し研究機関等の訪問、現地高校大学等授業参加などを実施	【平成30年度目標】 派遣数:25人	【平成30年度実績】 派遣数:20人	概ね達成	国民体育大会等派遣事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県単事業	749百万円	都道府県対抗で実施する国民体育大会の本大会、冬季大会に選手・監督を派遣する。また、国民体育大会の予選大会である九州ブロック大会に選手を派遣	【平成30年度目標】 国民体育大会選手派遣人数:300人	【平成30年度実績】 国民体育大会選手派遣人数:302人	達成	<p>(3)県出身日本代表スポーツ選手権(全ての国際大会)</p> <p>【進展遅れ】 トップアスリートを育成・強化するため、トップコーチの招聘や指導者研修会を実施するなど、より高度な専門性を有した資質の高い指導者の確保・養成に努めた結果、県出身日本代表選手数は年々増加傾向にあり、進展は遅れているものの、トップアスリートは育成されつつある。</p>				
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																																								
沖縄科学技術向上事業(H24~R3)(教育庁)	県単事業	37百万円	科学に対する興味や関心を高めるため、高校生を対象に先端研究機関等へ派遣	【平成30年度目標】 先端研究施設への生徒派遣人数:30人	【平成30年度実績】 先端研究施設への生徒派遣人数:48人	達成																																								
科学技術への興味関心を高める取組(H24~R3)(企画部)	県事業 ソフト交付金	386百万円 (309百万円)	児童を対象とした科学教室の自主開催支援や中学生及び高校生を対象とした科学教育プログラムを実施	【平成30年度目標】 出前講座等開催数10回	【平成30年度実績】 出前講座等開催数70回	達成																																								
海外サイエンス体験短期研修(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	86百万円 (69百万円)	カナダ・ブリティッシュコロンビア州へ、高校生を派遣し研究機関等の訪問、現地高校大学等授業参加などを実施	【平成30年度目標】 派遣数:25人	【平成30年度実績】 派遣数:20人	概ね達成																																								
国民体育大会等派遣事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県単事業	749百万円	都道府県対抗で実施する国民体育大会の本大会、冬季大会に選手・監督を派遣する。また、国民体育大会の予選大会である九州ブロック大会に選手を派遣	【平成30年度目標】 国民体育大会選手派遣人数:300人	【平成30年度実績】 国民体育大会選手派遣人数:302人	達成																																								

P648

記載なし

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進

政策ツール							背景・要因の分析																																			
<p>記載なし</p> <p>主な予算事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名 (事業年度)</th> <th>事業の種別</th> <th>事業費 (うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沖縄県体育協会活動費補助(H24～R3) (文化観光スポーツ部)</td> <td>県単事業</td> <td>615百万円</td> <td>県内競技団体を統轄する公益財団法人沖縄県体育協会が競技力向上対策、スポーツ少年団育成、県民体育大会の開催等を円滑におこなえるよう、協会に対して運営支援する</td> <td>【平成30年度目標】 県民体育大会参加人数：9,600人 スポーツ少年団の育成：-</td> <td>【平成30年度実績】 県民体育大会参加人数：9,675人 スポーツ少年団の育成：12,693人</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>南部九州全国高等学校総合体育大会開催推進事業(H27～R1) (教育庁)</td> <td>県単事業</td> <td>292百万円</td> <td>令和元年度全国高等学校総合体育大会(南部九州ブロック)本県開催に向けた準備業務を実施</td> <td>【平成30年度目標】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：-</td> <td>【平成30年度実績】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：48回</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>青少年文化活動事業費(H24～R3) (教育庁)</td> <td>県単事業</td> <td>74百万円</td> <td>県高等学校文化連盟等が行う全国高総文祭等への派遣費助成に対する補助等を実施</td> <td>【平成30年度目標】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：700人</td> <td>【平成30年度実績】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：1078人</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>こども科学力育成事業(H24～R3) (沖縄市)</td> <td>市町村事業 ソフト交付金</td> <td>173百万円 (122百万円)</td> <td>こども達が科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学企画展、体験イベント、ワークショップ、出前講座の実施</td> <td>【H29年度目標】 ・科学力育成事業参加者数：16,200人 ・出前科学教室参加者数：4,000人</td> <td>【H29年度実績】 ・科学力育成事業参加者数：21,578人 ・出前科学教室参加者数：5,254人</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>							事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	沖縄県体育協会活動費補助(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	615百万円	県内競技団体を統轄する公益財団法人沖縄県体育協会が競技力向上対策、スポーツ少年団育成、県民体育大会の開催等を円滑におこなえるよう、協会に対して運営支援する	【平成30年度目標】 県民体育大会参加人数：9,600人 スポーツ少年団の育成：-	【平成30年度実績】 県民体育大会参加人数：9,675人 スポーツ少年団の育成：12,693人	達成	南部九州全国高等学校総合体育大会開催推進事業(H27～R1) (教育庁)	県単事業	292百万円	令和元年度全国高等学校総合体育大会(南部九州ブロック)本県開催に向けた準備業務を実施	【平成30年度目標】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：-	【平成30年度実績】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：48回	達成	青少年文化活動事業費(H24～R3) (教育庁)	県単事業	74百万円	県高等学校文化連盟等が行う全国高総文祭等への派遣費助成に対する補助等を実施	【平成30年度目標】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：700人	【平成30年度実績】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：1078人	達成	こども科学力育成事業(H24～R3) (沖縄市)	市町村事業 ソフト交付金	173百万円 (122百万円)	こども達が科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学企画展、体験イベント、ワークショップ、出前講座の実施	【H29年度目標】 ・科学力育成事業参加者数：16,200人 ・出前科学教室参加者数：4,000人	【H29年度実績】 ・科学力育成事業参加者数：21,578人 ・出前科学教室参加者数：5,254人	達成	<p>(4-1. 4-2)国高等学校体育大会入賞者及び入賞件数(団体)(個人)</p> <p>調整中 (他部会)</p> <p>(5-1)高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(中)</p> <p>調整中 (他部会)</p> <p>(5-2)高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(高)</p> <p>調整中 (他部会)</p>
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																																				
沖縄県体育協会活動費補助(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	615百万円	県内競技団体を統轄する公益財団法人沖縄県体育協会が競技力向上対策、スポーツ少年団育成、県民体育大会の開催等を円滑におこなえるよう、協会に対して運営支援する	【平成30年度目標】 県民体育大会参加人数：9,600人 スポーツ少年団の育成：-	【平成30年度実績】 県民体育大会参加人数：9,675人 スポーツ少年団の育成：12,693人	達成																																				
南部九州全国高等学校総合体育大会開催推進事業(H27～R1) (教育庁)	県単事業	292百万円	令和元年度全国高等学校総合体育大会(南部九州ブロック)本県開催に向けた準備業務を実施	【平成30年度目標】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：-	【平成30年度実績】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：48回	達成																																				
青少年文化活動事業費(H24～R3) (教育庁)	県単事業	74百万円	県高等学校文化連盟等が行う全国高総文祭等への派遣費助成に対する補助等を実施	【平成30年度目標】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：700人	【平成30年度実績】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：1078人	達成																																				
こども科学力育成事業(H24～R3) (沖縄市)	市町村事業 ソフト交付金	173百万円 (122百万円)	こども達が科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学企画展、体験イベント、ワークショップ、出前講座の実施	【H29年度目標】 ・科学力育成事業参加者数：16,200人 ・出前科学教室参加者数：4,000人	【H29年度実績】 ・科学力育成事業参加者数：21,578人 ・出前科学教室参加者数：5,254人	達成																																				

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進

政策ツール	背景・要因の分析

努力義務・配慮義務・特例措置			
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-ウ 優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

P650

P650

成果指標	目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 看護大卒業率(4年次在籍者数における卒業生数の割合)	100%	92.8%(H23)	96.3%(H30)	進展遅れ
2. 県立芸術大学卒業生数(累計)	4,053人	2,809人(H23)	3,754人(H30)	達成見込み
3. 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)	65%	58%(H23)	67.3%(H30)	達成
4. 公開講座の参加者数	100人/年	—	330人/年	達成

(1)看護大卒業率(4年次在籍者数における卒業生数の割合)

調整中
(他部会)

(2)県立芸術大学卒業生数(累計)
美術・工芸、音楽・芸能などの伝統芸術の継承と発展や、新たな芸術創造に繋がる人材の育成に取り組んでおり、中でも琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コースを卒業した多くの学生が、国指定重要無形文化財「組踊」の伝承者として指定され活躍している。平成30年度県立芸術大学卒業生数(累計)は、3,754名となり目標値(R3)を達成する見込みである。

(3)県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)
県立芸術大学において、芸術活動の継続を希望する卒業・終了生に対して、共同研究員などの大学のインキュベート機能を周知するなどの取組により、目標値(65%)を、2.3ポイント上回る67.3%となり目標を達成している。卒業生の主な就職先は、伝統工芸、伝統芸能方面のほか、広告、印刷、ウェブコンテンツ制作、演奏家、音響関係など学習した技術・技能を活かせる業種が中心となっている。

政策ツール

主な予算事業

P649

P649

P357

事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
県立看護大学運営・施設整備(H24~R3)(保健医療部)	県事業 県単独		高等教育機関として県立看護大学を運営し、本県の保健医療の向上に貢献する看護師、保健師、助産師の育成を図る。	【H30年度】 看護師国家試験合格率 100%	【H30年度】 看護師国家試験合格率 97.4%	達成
県立芸術大学運営・施設整備(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 県単独	507百万円	独自の理念を掲げた大学運営を尊重しつつ、ニーズに対応した特色ある教育研究を促進する。	【H30年度】 県立芸術大学卒業生数(累計) 4,053人	【H30年度】 県立芸術大学卒業生数(累計) 3,754人	達成見込み
教育研究事業費(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 県単独	1,149百万円	沖縄県立芸術大学において、カリキュラムに沿った授業等の教育活動の実施、及び教員による研究活動を推進する。	【H30年度】 県立芸術大学卒業生数(累計) 4,053人	【H30年度】 県立芸術大学卒業生数(累計) 3,754人	達成見込み
県立芸大インキュベート機能強化支援事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 県単独		一定の要件を満たし、研究活動の継続を希望する卒業生を共同研究員として受入れ、研究活動を支援。また、自らの進路をデザインするカリキュラムを設置。	【H30年度】 附属研究所共同研究員としての卒業生受入れ	【H30年度】 附属研究所共同研究員受入れ人数 29人	達成
県立看護大学における地域貢献(H24~R3)(保健医療部)	県事業 県単独		一般県民を対象とした出前講座、公開講座等の実施。	【H30年度】 一般県民を対象とした出前講座等の実施	【H30年度】 一般県民を対象とした出前講座等の実施回数 31回	達成

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-ウ 優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(4)公開講座の参加者数 <div style="background-color: #4a90e2; color: white; text-align: center; padding: 20px; font-size: 1.2em;">調整中 (他部会)</div> (5)私立専修学校等の経常費等に対する助成 <div style="background-color: #4a90e2; color: white; text-align: center; padding: 20px; font-size: 1.2em;">調整中 (他部会)</div>
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
私立専修学校等運営費等支援(総務部)	県事業 県単独	282,996千円	専修学校・各種学校の教職員の退職金共済掛金、加入者保険料(長期給付掛金)に要する経費へ助成を行うとともに、大学入学資格が付与される専修学校高等課程の経常費を助成する。	私立専修学校等の経常費等に対し助成する。	【H30年度】 ○退職金掛金26校 ○加入者保険料30校 ○経常費補助 大学入学資格付与校(専修学校高等課程2校) 職業実践専門課程を設置する専修学校9校	順調	
努力義務・配慮義務・特例措置							
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)					

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(5) 産業振興を担う人材の育成
施策展開番号・名称	5-(5)-ウ 新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 起業家育成講座等を行う大学等の数	5校	0校(H22)	3校(H30)	進展
2. スポーツ産業人材育成数(累計)	21名	5名(H25)	18名(H30)	達成見込

P656

政策ツール

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
イノベーション創出人材育成事業(H30~R2) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	24百万円 (19万円)	起業家マインド(アントレプレナーシップ)を有する人材を継続的に育成・輩出する仕組みの構築を図るとともに、イノベーションの創出を促進する各種支援プログラム等を実施する	【H30年度目標】 新たなベンチャービジネス等の企業・事業化:年間1社(事業)以上	【H30年度実績】 新たなベンチャービジネス等の企業・事業化:2社	達成
中小企業支援センター事業(H24~R3) (商工労働部)	県単事業	500百万円 (百万円)	窓口相談や民間の専門家を活用した経営支援、個別企業の課題に沿った集中支援等、県内中小企業者へのワンストップサービスを実施する	【H30年度目標】 窓口相談件数:2,500件	【H30年度実績】 窓口相談件数:2,944件	達成
スポーツマネジメント人材育成事業(H27~H28) (文化観光スポーツ部)	(H27)各省計上 (H28)県単事業	34百万円 (14百万円)	沖縄の魅力や創造性を活かした、スポーツビジネスを発展・振興する役割を担う人材を育成する	【H28年度目標】 スポーツ産業人材育成数(累計):向上(5名以上)	【H28年度実績】 スポーツ産業人材育成数(累計):18名	達成
文化観光戦略推進事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	767百万円 (613百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う	【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合13.0%	【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%	達成

P446

(1)起業家育成講座等を行う大学等の数

調整中
(他部会)

(2)スポーツ産業人材育成数(累計)
【達成見込】
平成24年度から芝管理の専門知識と技術を兼ね備えた人材を育成するための「芝人養成事業」に取り組み、15名を養成した。また、平成27年度から「スポーツマネジメント人材育成事業」において、3人の人材を育成し、スポーツ産業人材育成数は平成28年度で18名となったが、事業が終了したため、目標値の8割程度にとどまっている。

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(5) 産業振興を担う人材の育成
施策展開番号・名称	5-(5)-ウ 新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
沖縄らしい風景づくり促進事業(地域景観の形成を図る人材の育成) (H24~R3) (土木建築部)	県事業 ソフト交付金	333百万円 (267百万円)	良好な景観創出のための仕組みづくりを目的として、風景・まちなみの再生を先導する地域に根ざした風景づくりリーダー等を育成する	【H30年度目標】 講習修了数:300人	【H30年度実績】 講習修了数:718人	達成	
経済金融活性化特別地区における人材の育成・確保 (H30~R2) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	141百万円 (113百万円)	経済金融活性化特別地区での金融関連産業の更なる集積や高度化・多様化を促進するため、特区内企業就業者向けの人材育成支援や、大学生等の特区内企業への就業を促進する取組を実施する	【H30年度】 ・講座受講者の金融ビジネス知識が向上したか、アンケートによる回答 80%以上 ・マッチングイベント参加者等の内、特区内企業への就業者の数 2名以上 ・セミナーに参加した就業者の業務に生かせる知識が向上したか、アンケートによる回答 80%以上	【H30年度】 ・講座受講者の金融ビジネス知識が向上したか、アンケートによる回答84% ・マッチングイベント参加者等の内、特区内企業への就業者の数 8名 ・セミナーに参加した就業者の業務に生かせる知識が向上したか、アンケートによる回答 100%	達成	
グローバル産業人材育成事業 (H24~R2) (商工労働部)	県事業 内閣府補助 ソフト交付金	1,078百万円 (1,028百万円) (40百万円)	海外展開に積極的な県内企業等を対象に、国内外OJT派遣、海外専門家等の招聘研修に要する経費に対して補助支援を行う他、海外展開に向けた集合研修(セミナー)を実施する。	【H30年度目標】 海外展開等を牽引する国際性と専門性を得られた(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【H30年度実績】 海外展開等を牽引する国際性と専門性を得られた、アンケート回答 100%	達成	
沖縄建設産業グローバル化推進事業 (H24~R3) (土木建築部)	県事業 ソフト交付金	百万円 (百万円)	アジア等海外建設市場への参入意欲を擁する数社をモデル企業として、海外工事入札までのプロセスを検証し、沖縄固有の障壁の特定と必要な支援策の検討を行う	【H30年度目標】 ・海外建設工事等への入札・コンペ等への参加企業数:1社 ・海外見本市の選定・参加企業の調査	【H30年度実績】		

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(5) 産業振興を担う人材の育成
施策展開番号・名称	5-(5)-ウ 新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(R3年度)	実績値(29年度)	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置					
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)			